

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅰ-6-3
空港・港湾の維持・整備

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

港湾空港課 土肥 美実

電話番号

0852-22-5228

事務事業の名称	空港機能保持事業	
目的	(1) 対象	空港利用者
	(2) 意図	施設や設備が適切に更新・改良されることにより、空港施設の機能が良好に保持されている状態。
事業概要	空港基本施設の更新、灯火電源設備の更新、灯火ケーブル等の更新、空港保安施設の改良などを行い、民間に供用する空港機能を保持する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	空港施設の供用率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	(空港供用日数-空港設備の不備による空港非供用日数) / 空港供用日数	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	152,329	548,251
うち一般財源 (千円)	152,329	432,851

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

空港設備の不備による空港の非供用日は発生していない。
滑走路等の基本施設、航空灯火関係施設や保安施設は経年による老朽化が進んでいる。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

出雲空港の老朽化したエプロンを改良し、機能の回復が進んでいる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

老朽化が進む空港施設・設備等の更新・改良に多額の事業費が必要

②困っている状況が発生している「原因」

除雪・除草、消防車両等の各種車両の老朽化に伴う車両整備費の増。
滑走路等施設の更新・改良は、調査から事業完了まで数年の期間と多額の事業費を要する。
滑走路内に埋設されている灯火施設があるため、滑走路施設と滑走路内灯火施設の更新は同時に行う必要があり、単年度に多額の事業費を要する。

③原因を解消するための「課題」

各種車両の計画的な更新を図る。
お互いの施設に影響を受けない進入灯や護岸・排水などの施設について計画的に更新・改良を行う。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

各種車両について、H28年度に策定した更新計画に基づき、計画的な更新を行う。
基本施設及び灯火電源施設については調査を行い、老朽化の状況を把握した上で更新・改良を計画する。
調査結果から総事業費が1億円を超える大規模な更新・改良が必要であることが判明した場合、補助事業化に向けた基本設計等を行う。